

# 事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	10-04-01		戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 業務 <input type="checkbox"/> 財務 <input type="checkbox"/> 人事				
事務事業名	荒川遊園管理運営費		部課名	子ども家庭部荒川遊園課		課長名	遠藤	
			担当者名	細谷		内線	473	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	荒川遊園管理費						
	01-02-01	荒川遊園事業費						
	01-03-01	荒川遊園営繕費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業                   （ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度 ）			<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 25	（ 1950 ）		年度	根拠	都市公園法		
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		（   ）		年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅱ		子育て教育都市				
	政策	03		子育てしやすいまちの形成				
	施策	01		多様な子育て支援の展開				
目的	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援の拠点施設として活用していく。							
対象者等	小さなお子様のいるファミリー層を中心に、夜間開園時は大人も含む区内外からの来園者。							
内容	【荒川遊園の概要】 総面積54,416㎡ A地区…31,466㎡（有料地区）、B地区…5,234㎡（子どもプール）、 C地区…14,141㎡（地下駐車場）、D地区…3,575㎡（荒川遊園拡張地） 【事業の内容】 ①遊園地の管理運営（令和4年4月21日リニューアルオープン） 大型遊戯施設、小型遊具、ふわふわドーム、わくわくハウス（わくわくパーク・売店）、 もぐもぐハウス（売店）、一球さん号（売店）、釣り堀、動物広場、下町都電ミニ資料館 水あそび広場、しばふ広場、アリスの広場 ②子どもプールの管理運営 ③都市公園の維持管理等							
経過	平成元年4月 遊園の管理運営業務を荒川区地域振興公社（ACC）に業務委託 平成 3年4月 全面リニューアルオープン 平成18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定 平成20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成21年9月～平成22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成23年4月 荒川区子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成29年4月～ 荒川遊園改修基本計画・基本設計 平成30年12月～ リニューアル工事着手のため一時休園 令和2及び3年 新型コロナウイルス感染症拡大のため子どもプール運営を休止 令和4年4月 リニューアルオープン 令和4年10月 夜間開園及びイルミネーション開始							
必要性	荒川遊園は都内で唯一の公立の遊園地であり、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援の拠点施設として、また併せて区の貴重な観光資源の一つとして活用するため、必要性は高い。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> ）                   （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ） 委託業務：遊戯施設等運営・保守・入園案内、動物飼育、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設運転管理、子どもプール運営、キャラクターショー                   管理許可：売店							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	入園者数（人）	0	0	385,937	500,000	500,000	30年12月から4年3月まで休園 4年4月再オープン
	②	遊戯施設等利用者数（人）	0	0	1,884,093	1,800,000	1,800,000	大型遊具、小型遊具、室内遊び場、 ふわふわドーム、釣り堀
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進		重点的に推進		荒川区の子育て支援の拠点施設であるとともに、区の最大の観光資源であり、荒川遊園の管理運営は重要である。				

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	410,389	1,051,638	1,051,300	1,376,535	2,012,770	641,513	706,274	
決算額(5年度は見込み)	338,363	855,365	891,659	1,304,269	1,993,747	565,494	706,274	
実績の推移	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	入園者数(総数[人])	417,549	313,266	—	—	—	385,937	500,000
	子どもプール(人)	21,069	25,015	16,035	—	—	14,405	20,428
	遊戯施設利用者数(人)	1,549,000	1,058,000	—	—	—	1,884,093	1,800,000

令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	18,396	需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	40,351	報償費	都電ミニ資料館、陶芸教室、工作教室	3,093
需用費	園内設備小破修繕	15,357	需用費	園内設備小破修繕	12,501	需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	74,787
使用料	AED、券売機、小型遊具リース	2,935	使用料	AED、券売機、小型遊具リース	16,244	需用費	園内設備小破修繕	17,189
委託料	清掃、樹木管理、地下駐車場管理	50,985	委託料	清掃、樹木管理、地下駐車場管理	167,364	使用料	AED、券売機、小型遊具リース	16,454
委託料	プール、キャラクターショー等運営	5,359	委託料	広告宣伝費、看護師派遣	17,655	委託料	清掃、樹木管理、地下駐車場管理	185,646
委託料	工事監理、室内遊び場整備	129,641	委託料	遊戯施設運営、動物飼育管理	290,918	委託料	遊戯施設運営、動物飼育管理	348,516
工事請負費	荒川遊園改修工事	1,719,366	工事請負費	D地区スーパー堤防被覆工事	0	工事請負費	手すり増設、D地区仮整備	45,401

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	21,127	37,990	16,863	地方税等	0	0	0
	物件費	151,020	481,419	330,399	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	62,107	9,922	▲ 52,185	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	200	3,215	3,015	使用料及び手数料	6,183	457,228	451,045
	減価償却費	160,997	266,188	105,191	その他	854	3,159	2,305
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,037	460,387	453,350
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,886	1,962	▲ 1,924	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 865,871	▲ 406,476	459,395
	その他行政費用	473,571	66,167	▲ 407,404	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	872,908	866,863	▲ 6,045	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 865,871	▲ 406,476	459,395
	特別費用(g)	0	22,500	22,500	特別収入(f)	22,074	0	▲ 22,074
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	22,074	▲ 22,500	▲ 44,574	当期収支差額(e)+(h)	▲ 843,797	▲ 428,976	414,821

備考 物件費は、主に遊戯施設等運営業務委託、清掃業務委託、動物飼育等管理運営委託、光熱水費に要した費用であり、4年度に運営を再開したため増となっている。維持補修費及びその他行政費用は、3年度末に改修工事が完了したため減となっている。

問題点・課題 ①安全を第一に、遊戯施設等の点検を確実にし、必要な修繕を早期に実施するとともに、来園者が安全・安心に利用できる体制を維持していく。  
②入園口、遊戯施設、どうぶつ広場、売店、清掃など、来園者と直接接するスタッフを中心にホスピタリティ溢れる接遇を行い、来園者に快適に過ごしていただける運営を継続していく。  
③持続的な集客の向上を図るため、様々な広報媒体を活用してPRに注力するとともに、来園者が来園する度に新たな体験をしていただけるイベント等を実施していく。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	オープン後も引き続き日常及び定期点検を確実にするとともに、新型コロナウイルス対策マニュアルに基づいた運営を徹底する。	週次点検・月次点検・法定点検を実施した。感染症拡大防止のため入園の事前予約制導入や遊具の除菌等、基本的対策を行った。	安心して遊べる遊園地であるために引き続き適切に遊具点検を実施する。さらに使いやすい施設となるよう適宜改善を行う。
②	日々及び月次のミーティング等により、各事業者と連絡・調整・協議を重ね、連携を強化し、安全・安心の運営を行う。	日々の朝礼、週に一度園内業者の連絡会議、月に一度安全管理委員会を開催し、安全性とより良いサービスの向上に努めた。	今後も各事業者との緊密な連携を保つため、協議・連絡を行う。全事業者が連携し来園者目線に立ったサービス改善を図る。
③	持続的な集客を図るため、メディア対応等の広報活動や釣り大会等の各種イベントを継続的に実施していく。	取材の受け入れだけでなく、SNSの活用により幅広い世代に向け機動的に広報活動を行った。季節に応じた各種イベントを実施した。	リピーター確保のため季節や時期に合わせたイベントを行う。新規来園者を増やせるよう積極的な広報を行う。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
23区唯一の区立遊園地	

議会(要旨) 【令和3年度9月会議】荒川遊園ならではの集客策を講じ、魅力向上を  
【令和2年度9月会議】荒川区最大の魅力発信拠点に  
【平成30年度11月会議】①都電停留場からの園路をガス灯などを設置したレトロな雰囲気、②多様な媒体を活用した広報戦略を  
【平成28年2月会議】夜間営業、イルミネーションを行うべき